

おり、台湾側はひたすら「聞く耳をもたない」子供じみた姿勢に終始している。

【其の二】次に金門馬祖の事を指摘したい。国府軍が大陸から台湾へ移動すると同時に大陸の沿岸に点在する多くの島々を占拠何時か「大陸へ反抗する足場とする」としてこれらの島々を要塞化する当時蒋介石に大陸へ反抗する意志があつたかどうかは疑わしい。又占拠した島々が「足場」足りうるのかも疑問だ。大陸へ反抗するためには強力な海軍と少なくとも空中給油機を含めた大規模な空挺部隊を必要とするはずだが、韓国の国防費を上回る予算を投入していくながら今でも台湾の海軍はアメリカで用済みとなって供与を受けた数隻の旧式駆逐艦を主力としており、上陸用舟艇や重い爆弾を搭載出来る三角翼の攻撃機を多数保有している訳でもない。つまり「大陸への反攻」の方もこれ又負け犬の遠吠えに似た打ち上げ花火であったと言わざるを得ない。

その後中国は核兵器を開発、今でも 250万人の将

兵をかかえる人民解放軍の装備は年々改良されて来ており、だれが考えたって台湾が大陸を乗っ取れるとは思えない。さすがにきまり悪いと見え、最近台湾では「大陸への反攻」の国是をギブアップ、そして「大陸からの攻勢を防衛」に切り替えた。その為に空軍を充実させ、専ら「防衛」と云っても台湾近辺での空中戦にしか使えない様な数種類の戦闘機をアメリカから大量に導入している。

今だに占拠している、金門島と馬祖島の方は「大陸の動きを監視する二つの目玉」に変わり、「反抗の足場」ではなくなってしまった。いずれにしても「台湾から大陸に対して戦火の口火を切ることは無い」と見る。

これは私が1996年3月に行われた中国海軍による台湾海峡での大規模な演習の直前にたまたまアモイに居て、休日のヒマを持て余すしている時に思い立ち、金門島がよく見える「黄曆」と呼ぶ海岸で数時間過した時に得た印象である。  
(続く)

## 新代表治田さんへのお願ひ

治田さん、代表當選おめでとうございます。

治田さんはお目にかかったこともお話ししたことの少ないのでございますが、平成維新の会の初期の頃から会のために献身的に働いて下さっているのは知っていました。昨年は総会に出られませんでしたが、治田さんが代表におなりになった事を知って、なるべき方がなられたと思って喜んで居りました。今年引き続き代表に当選なさったのも治田さんのそういう会に対する実績とそのお人柄によるもので、当然のことと思っております。ただ、治田さんの運動方針については、多少疑問を持っておりますので以下にその点を書かせて頂きます。

第一は会の名前の問題です。大前さんが書かれた「平成維新」という本に感動し、大前さんの呼びかけに対して、その旗の下に馳せ参じたのが私たちです。もし、平成維新という名がなくなってしまったら、私たちは会の原点を無くしてバラバラになってしまいそうな気がするのです。治田さんは大前さんに遠慮しそぎているように思います。「平成維新」という言葉も会も大前さんが作られたのですが、今更、名を勝手に使うなと言われても困ります。

只困ったことに私たち日本人の中には色眼鏡の愛好者が多く、マスコミと言わず、一般人と言わず常に携帯していて、事ある毎に使用するので問題がおかしくなるのです。私たち平成維新の会は右でも左でもなく、ただ一般の人より少し先に進んだ考え方を持っているだけです。例えて言えば大前さんの著書を読んで理解する能力があると言うことでしょうか?。「李下に冠を正さない」用心は必要ですが、幽霊の影におびえるのもどんなものでしょうか。もちろん大前さんがテレビ番組ができなくなってしまっては私たちも残念ですし（とても良い番組だと思っていますから）、つまらん誤解を受けないように皆が気をつけなければならぬと思います。

世田谷区 井上小枝子

第二に民主党との関係です。長妻さんや小川さんを応援したのは、私たちの会員で人柄も信用できると思ったからで、民主党だからではありません。革命を起こして悪いことをしてきた人間を全部ギロチンにかける事ができない以上、一人でも二人でもマトモな人を議会に送らなければなりません。ですが、民主党と限ってしまうのはどうでしょうか?。民主党はできたばかりの政党で、まだ海のものとも山のものとも言えないように思います。それで改めて生活者通信を読み直してみると、民主党支持と思われるでも仕方がないような文章が載っているように思います。これは是非改めなければいけないと思います。民主党支持もカンプロジェクトも結構ですが、それは会員としてではなく、個人としてやって頂きたい。それを強く希望いたします。

もう一つ、政党の下部組織と思われてはいけない理由があります。皆さんご存じの通り、原水禁は杉並の主婦が始めたものです。ところが、共産党に乗っ取られた形で、今のような事になりました。それではいけない、もつとマトモな原爆禁止運動をしようと立大総長だった松下さんという方（名前の方は忘れました。美濃部さんと都知事を争った方です）が核禁会議というのを作られました。それに民社党が飛びついたのです。マスコミを始め例の色眼鏡の愛好家達があれば民社系だと決めつけたので、運動はだんだん先細りになり、いつの間にか消えてしましました。私たちが民主党の下部機関と思われたらマトモな市民運動はできなくなると思います。

ですから私たち独立した「平成維新を考える都民の会」として体を張っていきたい思います。個人的には民主党でも自民党でも共産党でも支持するのは自由です。私は都民の会としてこうありたいと思っています。

皆さんのご批判を仰ぎたいと思います。